

建設工事成績評定、ホームページでも公開へ 市議会総務常任委員会で野口財務部長が検討を約束

市議会では各常任委員会の議案等の審査が11日に終わりました。私は所属している総務常任委員会で、工事契約、平和施策、行政不服審査などの問題を取り上げました。

今号では建設工事の契約、検査問題についてお知らせします。ここでは、契約の適正な履行確保や工事施工業者の技術水準向上をめざす検査と成績評定、物価変動にともなう契約変更について、市当局の考えをたどりました。

請負金額が130万円以上の建設工事については、市が定めた方法によって監督員、検査員が工事ごとに成績評定をすることになっていきます。ところが、この結果の公表は検査課のボードに掲示するだけで終わっていました。

私は、「市のホームページに掲載するなど市民に見える形で公表してこそ業者間で競争が起

シリーズ 上越市内の橋 第9回 平等橋

今回も牧区区内にある橋です。「平等橋」と書いて「へいとうばし」と読みます。上越市内には「平等橋」も「平等橋」もある。直接的な関連はないもの、なんとなくうれしくなります。

橋があるところは、牧区区内の山間部。県道柳島信濃坂線のひっそりとした霧囲気が漂う場所です。橋を訪れた時には川の流れる音とセミの鳴き声しか聞こえてきませんでした。竣工は1986年（昭和61年）12月。橋長は約27メートル。



こり、優良工事につながっていく」と主張しました。これに対して野口財務部長は、「公表はどういう形がいいか検討する」と答えました。会議終了後、宮川検査課長は、「来月からホームページに掲載します」と私に連絡してきました。なお、昨年度、対象となった工事の平均点は73点で、一昨年度よりも2点ほど上がっています。（左の写真は10日の総務常任委員会）

昨年度、経済危機の悪化や激しい物価変動によって中小建設業者は苦しみました。

建設工事請負約款では、「主要な工事材料」の価格変動が激しい場合は契約額の変更を求めることができることになっています。しかし、昨年度、請負業者から申し入れがあったのは鋼材類の価格上昇に係る2件のみでした。燃料油に係るものは1件もなし。「一番せつない時に契約額の変更申請ができないのはおかしい」との追及に栗本契約課長は、「（新たな）基準を作成していきたい」と現基準の見直しを示唆しました。



【お知らせ】

私の一般質問は15番目、17日に登壇の予定です。早ければ同日の午前11時頃から、遅くとも午後2時頃から。木浦市長に木浦市政の総括などをききます。



【キンミズヒキ】赤い花をつけるミズヒキはタデ科ですが、こちらはバラ科。小さな黄色い花が目立ちます。のし袋につける金色の水引きに似ていることからこの名前がつけました。山方町内会には種でどんどんふやしている人がいます。

区分	対象者数(人)	参加者数(人)	参加率(%)	区分	対象者数(人)	参加者数(人)	参加率(%)
合併前の上越市	11,643	5,251	45.10	大湊区	1,490	339	22.75
諏訪地区	250	117	46.80	頸城区	1,220	530	43.44
津有北部地区	560	250	44.64	吉川区	973	284	29.19
高士地区	409	180	44.01	中郷区	868	205	23.62
安塚区	770	314	40.78	板倉区	1,404	362	25.78
浦川原区	770	319	41.43	清里区	567	289	50.97
大島区	589	261	44.31	三和区	1,385	432	31.19
牧区	645	254	39.38	名立区	893	399	44.68
柿崎区	1,994	355	17.80	地区敬老会計	26,430	10,141	38.37

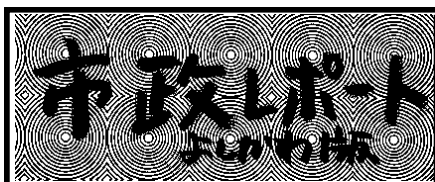
敬老会の平均参加率は38%台

昨年度の敬老会の実施状況が市議会厚生常任委員会で明らかにされました。

上越市は昨年度から敬老会の対象年齢を70歳から75歳に引上げて実施。合併前上越市では全

地域対象の敬老会を廃止し地区敬老会の開催へ移行しました。

しかし、地区によっては、参加対象年齢を今までと同じく70歳以上としたところもあります。75歳以上にした地域から、「70歳以上で実施して」の声が出るのは当然です。



NO 1414
2009.9.13

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
Tel 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/